

ファクトシート（仮訳）

IFIAR 2014 年本会合

IFIAR のメンバー数はここ 1 年で増加を続け、新しく 5 つの監査監督当局を迎え入れたことにより、全メンバー数は 50 となった。今回の IFIAR 2014 年本会合には 40 当局以上が参加したが、メンバー全体では、世界市場の時価総額の約 80 パーセント超を占める国・地域の上場企業監査の監督を行っている。

IFIAR は、監査に関する協調及びグローバルな情報交換を主導するフォーラムとなることを目指している。本会合において、メンバーは監査監督に関する目下のテーマについて議論を行った。会合には、監査委員会の議長、投資家代表、学者、他の監督当局、基準設定主体、6 大国際監査ネットワークのグローバル CEO 等もゲストとして参加した。

IFIAR はこれらのゲストと以下の点を含む様々な問題について議論を行った。

- ・ いかにして監査は投資家や監査委員会のメンバーにとってより役立つものにできるか。IFIAR 投資家との対話ワーキング・グループ及び GPPC ワーキング・グループとの共同セッションには以下のパネリストを招いた。
 - ワーナー・ブラント博士：SAP AG 社の理事会メンバー、最高財務責任者。Deutsche Lufthansa AG 社を含む数社の監査委員会メンバー。
 - リンダ・デ・ビア氏：国際監査・保証基準審議会(IAASB)の諮問助言グループ議長。南アフリカ上場会社 3 社の役員会における社外取締役。
 - 村岡富美雄氏：株式会社東芝の監査委員会取締役兼議長。国際会計基準(IFRS)助言委員会(AC)メンバー。
 - デニス M.ナリー氏：PwC インターナショナル議長。
 - ドン・ニコライセン氏：モルガン・スタンレー他大手発行体の監査委員会議長。米国証券取引委員会(SEC)の前主任会計士。
 - ラルフ・ホイトワース氏：アメリカの大手投資マネジメント会社 Relational Investors LLC の創設者。ヒューレット・パーカード社取締役会議長であり、その他数社の株式会社取締役。

同セッションでは、投資家が監査委員会や監査人に何を期待するか、監査委員会と監査人はいかにして投資家の要求に最も適うことができるか、監査監督当局はいかにして監査委員会の任務の遂行を支援することができるか等について議論を行った。GPPC ワーキング・グループとの同共同セッションのため提出されたバックグラウンドペーパーは IFIAR ウェブサイトから入手可能。

- ・ 監査品質指標及び監査品質を評価する上での課題

- ・ 監査品質に与える影響を含む、監査法人の経済・ビジネスモデルの検討
- ・ リスクベース検査アプローチやより一般的な監査監督の進展に向けた手段としてのリスクの特定及び評価
- ・ 監査に関する基準の策定において監査監督当局の考えがより理解されるよう、国際監査・保証基準審議会 (IAASB) 及び国際会計士倫理基準審議会 (IESBA) によって検討されている現在のプロジェクトを含む基準設定に関するテーマ
- ・ 恒久的事務局の設立に関する議論を含む、IFIAR の様々な構想や選択肢から生じる将来的な課題

IFIAR メンバーは、協調及び情報共有の促進のため、組織全体やワーキング・グループ内におけるその他の構想についても議論を行った。IFIAR は外部及び内部のコミュニケーションを強化するとともに、基準設定プロジェクトに関する意見を提出する能力を促進するため、コミュニケーションポリシーの承認を行った。現在進行中のプロジェクトとして、調査と執行活動のための情報共有に向けた多国間協定の可能性について検討を行っている。毎年開催している検査ワークショップ（最近では 2014 年 3 月にクアラルンプールにて開催）では、個別メンバー国における経験とともに、IFIAR の活動を通して得た情報も組み込み、検査に従事する職員間の情報共有を促進している。

監査品質に関心のある他の国際機関とのコミュニケーション及び協調を促進するため、IFIAR は本会合において、公式なオブザーバー組織であるバーゼル銀行監督委員会(BCBS)、欧州委員会(EC)、金融安定理事会(FSB)、保険監督者国際機構(IAIS)、証券監督者国際機構(IOSCO)、公益監視委員会(PIOB)、世界銀行(WB)の代表を招いた。

IFIAR の 2015 年本会合は同年 4 月に台湾の行政院金融監督管理委員会によって主催される。